

CHPに基づく予防歯科の新潮流 ～地域医療とヘルスプロモーションの融合～

行動変容

🕒 13:00～14:00

講師



Dr 武藤 直広 先生

ご略歴

2002年 愛知学院大学歯学部卒業
2003年 福井県たけの子歯科勤務
2006年 むとう歯科医院勤務
2014年 医療法人 幸創会 幸創会開設
理事長就任
2017年 移転・むとう歯科医院院長就任

・日本老年歯科医学会 会員
・日本障害者歯科学会 会員
・日本口腔ケア学会 評議員
・日本摂食嚥下
リハビリテーション学会 認定士
・日本口腔インプラント学会 会員
・国際歯周内科学研究会 評議員
・日本口腔感染症学会 会員
・CHP研究会 代表



DH 萬谷 梓 先生

ご略歴

2015年 名古屋デンタル衛生士学院卒業
2015年 むとう歯科医院勤務
2016年 むとう歯科医院幹部就任

むとう歯科医院入職2年目で幹部に就任し、人材育成や教育システム構築、業務改善に従事。現在は全国の歯科医院を対象に、育成・離職防止・チーム力向上をテーマとした院内研修や講演を行う。ヘルスプロモーションの視点を取り入れた実践的な内容が好評。デンタルショーや企業向け健康経営セミナーにも登壇し、歯科衛生士の主体性とやりがいを引き出す支援を続けている。

近年、「治す医療」から「防ぐ医療」へのシフトが加速する中、歯科医療の現場にも、単なる処置ではなく「関わり」の質が問われる時代が来ています。

Clinical Health Promotion(CHP:クリニカル・ヘルス・プロモーション)は、患者さんの生活背景や価値観に寄り添い、行動変容を促す新しいアプローチです。口だけでなく「人を診る」私たちにとって、今まさに求められている視点ではないでしょうか。

本講演では、CHPの考え方をベースに、「歯磨きしなきゃ…」が「自分のために磨きたい!」に変わるような、心を動かすコミュニケーションや、患者さんが“また来なくなる”関わり方をお伝えします。

さらに

- CHPに基づいた保健指導の組み立て方
- 行動科学を活かしたアプローチの具体例
- 地域包括ケアや多職種連携とのリアルなつながり
- 健康格差に配慮した実践のヒント